真に民主的な労働運動を 不断に追求し、働く者と 家族の幸せ、JR産業の持 続的発展を実現しよう

JAPAN RAILWAY TRADE

日本鉄道労働組 合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849 1部20円 (但し組合費に含む) ●発行者/荻山市朗 ●編集者/今井孝治

JR連合 twitter > JR連合

R

で働くすべ

べての住

間

して働き続けることのできる安全な職

第 11

回安全シンホジウム

JR北労組自動車支部で 2人加入

7月以降、JR北労組ではすでに 7人の組織拡大が続いているが、 動車支部で9月19日に28歳、10 月1日に33歳の組合員がそれぞれ 加入した。

いずれも北鉄労に不信・不満を感 じた中で、組合方針や運動の違いを 理解し、自由で民主的なJR連合 JR北労組を選択して、加入を決断 した。

JRバスで働く仲間2千人 そしてJR連合に集う 8万3千人の仲間が 勇気ある決断を 心より歓迎します!



主体的に安全を高められる風土を築くために、 JR産業全体 で理解や信頼を深めていこうと語る荻山会長



中災防山岡所長

ŋ

「働く形そのものが大き 神津里季生会長よ JR連合からは加盟各単組

く多様化している今日、

言があり、JR連合からは

して、13人の代議員から発

議事では執行部提案に対

責任ある役割を果たさなけ 高められるような風土を築 が納得して主体的に安全を 解や信頼を高め、働く仲間 いる。そのためにはJR産 お 互 労働組合が いの理 方を示した。 に取り組むJR連合の考え ればならない」と安全問題

全はもちろん、すべてのJ

R関係労働者の死亡労災・

確立を運動の最優先課題

合荻山市朗会長は、

土催者を代表し、

J R 連 「 安全

災害をなくしていく決意を共有した。

働く仲間の労働災害を撲滅すべく取り組みを推進しよう~」

400人が参集した。テーマに JR連合加盟の各グループ単組を含め、

「すべてのJR職場の安全確立にむけて~JRで

組合員・連合加盟産別・交運労協など約

第11回安全シンポジウムを開催し、

10月16日、JR連合は高松市内において、

と位置付け、

お客様の安

和寿所長からは「みんなで いて講演いただいた。さら ケーションの課題などにつ 割や重要性、組織コミュニ をテーマに、指差呼称の役 安全確保 安全職場ヨシ」 生サービスセンターの山岡 害防止協会中国四国安全衛 第一部として中央労働災 おいて第16回定期大会を開 催した。スローガンに「私

結成30周年を迎えた連合

べての働くものを守り、社

今井孝治企画部長が集団的

労使関係の拡充・強化につ

いて発言を行った。今井部

「働き方改革において

会全体の安心を確保してい

〜まもる・つなぐ・

創り出す~

都内に

30 周

年を節

動

10

16 回 定期

からは 安全推進室の岡本真一室長 に、JR四国鉄道事業本部 聴者ら1000人を超え、 参加者は来賓・代議員・傍 社会に向けて~」を掲げ、 たちが未来を変える〜安心

> 係の確立と拡大を図り、 くためには、集団的労使関

隅々まで広げ、雇われずに

域で粘り強く闘い、社会の

集うことのできる社会を構 働く人も一緒に労働組合に

築していなければならない

盟101単組をはじめ、JR産業を構成する業種・業態のすべての職場から労働 を掲げ、JR連合加 ループ各社の安全の取り組 み等を説明いただいた。 推進計画の内容や進捗、

の安全の取り組みにつ

彦常務取祭

締役、NESCO

労組の八木大星執行委員長

がパネリストとなり、JR

として、

「さらなる安全確

が「JR連合からの提起」

合の中村鉄平交通政策部長

これらを受けて、JR連

説明を受けた

第三部は「安全で安心し

連合の今井孝治企画部長が

一立に向けた取り組みを強化

J R四国岡本室長

山達礼中央執行委員から、 安全ディスカッションなど 事務局長、貨物鉄産労の小 JR西日本連合の白壁靖子 海連合の尾内裕昭事務局長、 からの報告として、JR東

一部では、

エリア連合

くりにむけて」と題したパ

労働災害の実情と背景、

コーディネーターを務め、

R産業に べてのJ 関係をす 団的労使

て働くことのできる職場づ

ネルディスカッションを行

総連の山本貴生組織局次長、

対策などについて討議した。

むすべて 会社を含

新技術を活用した安全

離職防止の取り組

拡げてい

山岡所長に加え、電力

JR四国ホテルズの髙畠雅



J R 東海連合 尾内事務局長

J R西日本連合 白壁事務局長

貨物鉄産労

設的な集

健全で建

労使関係が必要だと訴える今井部長

「安全」という絶対的使命があるからこそ、JR産業には集団的 席した。 員・傍聴含め総勢15人が出 盟単組の仲間とともに代議 た。総会には、JR連合加 で第35回定期総会を開催し

主催者を代表して

運労協の総力を結集し、

交

の将来像 公共交通

「連携・協働・共創~交

て「事業者単独では乗り 政策課題の解決にむ

越えられない課題が数多く

野敏彦議長は、頻発・激甚 ワークの維持・活性化につ う地域の人流・物流ネット 人口減少・地方過疎化に伴 化する自然災害への対応や 挨拶に立った交運労協の住

部より提起された。

に立った。 方針を補強する立場で発言 り中山耕介組織部長、白壁 靖子特別執行委員 **労組中央副執行委員長)** それに対し、JR連合よ

(J R 西

ちがしっかり

鉄

きるような工夫を図ってい

交通運輸産業の 交運労協第35回定期総会 JR連合が構成組織とし 将来展望を切 H h

産業労働組合協議会(交運 労協)は、10月3日、都内 て加盟する全日本交通運輸 えていかなければならない」 と訴えた。 加え、事業者同士が協力し 合うことによって、乗り越 国・地方との連携に

Sといっ

た、

地域

に掲げた総会では、この間 通運輸産業の将来展望を切 今後1年間の方針案が執行 の活動報告を踏まえつつ、 り拓こう~」をスローガン 欠かせない」 間のさらなる連携・協働が を描くためには、各モード 輸産業におけ 壁特別執行委 境整備を通じ女性参入を拡 現状に触れ、 る女性活躍の と述べた。白 員は、交通運 「さらなる環

取り組みにも女性が参画で 大していくためにも、私た 声を上げてい 交運労協の 員として、交通運輸産業の 長に、尾形泰二郎事務局長 拓くべく、取り組みを強化 将来を自分たちの手で切り をはじめとする新たな役員 ただきたい」と訴えた。 が幹事に選出された。 からは荻山市朗会長が副議 体制を確立した。JR連合 役員改選では、住野議長 JR連合は交運労協の一

政策課題 それぞれ



整備を進める取り組みを要請する

拓 る M a a 府の進め 上で、「政 に触れた

J R連合からは、女性活躍のためさらなる環境

らこそ、 たすべき役割に触れつつ、 いう絶対的な使命があるか 有し、その方向性を継続的 ならない」と労働組合が果 にチェックし続けなければ めるべきところを労使で共 「特にJRには『安全』と 労働組合が存在し、 労働組合が組合員 改 て、

ループ会社 ることを述べた上で、「グ 体の総合力で運営されてい るかが会社の 係の必要性を語った。加え とJR産業における労使関 現場の実態を明らかにでき JR産業がグループ全 隅々まで労働 命運を握る」

からは、荻山市朗会長が中

一央執行委員に選任された。

の声をいかに会社に届け、 車総連)が再任され新たな 役員体制を確立。JR連合

のない、安全なJR産業を る意見を集約し、労働災害 創出しよう」 と力強く訴え 津里季生氏(基幹労連)、事 決意を示した。 務局長の相原康伸氏(自動 役員選挙では、会長の神

とJR産業で働くすべての ていかなければならない」

仲間の〝総結集〟にむけた

な集団的労使関係を構築し 大を加速させ、健全で強固 労働組合の組織化・組織拡 組合の必要性を強く訴求し、

の働く仲間から安全に関す

パネルディスカッションでは、4人のパネ リストが、それぞれの立場から討論を展開

緊急条例す

Ars.Carriy Lam 林嗣日鍵

山梨県早川町・地域活性化ボラ

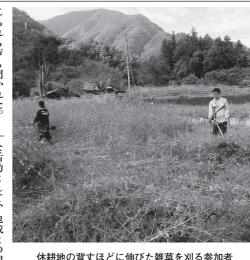
重ねた想い 「築いた地域との絆」

まれた厳しい環境で、人口 貨物鉄産労の組合員総勢22 ユニオン、JR四国労組、 月28日から29日にかけて、 化が進んでいる。今回は9 JREユニオン、JR東海 約1000人と、年々過疎 ンティア活動を行っている。 JR身延線沿線にある同町 南アルプスの山々に囲 い」といった絆の深さを感

年2回、同町保地区でボラ と連携し、2008年から 法人日本上流文化圈研究所 にむけた政策提言「7つの ートナーシップ」に基づ JR連合は、地域活性化 山梨県早川町のNPO 町に活気が残っている気が 流会の中では町の方より する。また来年も来てほし 整備などに汗を流した。 の除草、獣害電気柵周辺の や土砂の除去、休耕地など 脇の用水路にたまった枯葉 農道やセギと呼ばれる道路 と複数のグループに分かれ、 人とともに、地域の活性化 お互いの親睦を深めた。交 の皆さんと交流会を行い、 に資する作業に取り組んだ。 また、作業後には保地区 皆さんが来てくれた後は、 具体的には、保地区の方々

| 社会的な役割に鑑みた重要 | ととする。 じられる声も聞かれた。 JR連合は、 労働組合の

な活動として、地域との関



阪交通シティバス労働組合 な意見交換が行われた。 について、国土交通省自動 ス事業における働き方改革 の協力のもと、大阪市営バ 参加者からは現場目線に立 みが紹介された。その後、 ついて、バス各社の取り組 車運送事業の働き方改革に 講演では政府の進める自動 室長から講演をいただいた。 車局総務課企画室の星明 った質問が出され、有意義 翌日は、自治労加盟の大

出)の梶原英樹です。選挙期間中

組合員の皆様に、地元の方々と

ました。

京都府議会議員

(京都市山科区選

地方議員団

紹介 【JR西労組】

京都府議会議員

原

英

樹

緒になって多大なるご支援をいた

担う子供たちにバトンタッチができ

た方からバトンを受けて、次世代を

るように引き続き、顔の見える活動

た。これまで地域を守ってくださっ だき本当にありがとうございまし

をしていきます。

私は2002年に入社、駅員を1

ために、安心して子供を生み、楽

す。そのために、地方議員団との連

治体等の垣根を越えた連携が必要で

携や、関係箇所との積極的な議論・

調整を図って参ります。

することです。人口減少を解決す

る

みながら子育てができる環境を整

ていきます。

スから民営化された大阪シ

わりに積極的に取り組むこ

換を実施した。とりわけ、 ティバス株式会社の研修セ ンター等の視察及び意見交

性のあるものにしていかな

格化では意味がなく、

ければ」と、労働政策審議

会において今後進められる

自動車連絡会第27回総会

域公共交通の担い手

「バス産業」を魅力ある産業に

り巻く情勢について報告し るバス産業にしていく必要 がある」と語った。 た後、向こう1年間の運動 展開について協議した。 総会では、バス産業を取

総会後、研修会として「バ 人手不足への対応として、

ていることが確認された。 の課題として、労使一体と 組んでおり、バス産業共通 なった取り組みが求められ 採用活動の強化などに取り

る持続的な発展にむけて、

JRバスで働く者の代表と

業の魅力向上と将来にわた

声を社会に届けたい」「地元をもっ

消防団や体育振興会、少年野球、P 社で1年働いていました。地元では 年、車掌を12年、指令所で2年、支

TA等で活動をしており「働く者の

|既存の交通機関の維持策||では

関係性の深い医療・福祉をは

ために全力を尽くします。

すべてを行い、地域、社会の発展の

議員1年目ですが、できることの

三つ目は交通政策です。単な

連合運動を展開していきた 自動車連絡会は、バス産 して一層運動を展開する。

争を中心とした組織課題へ が共有する「北海道新幹線」 いった政策課題、民主化闘 や「単独維持困難線区」と い」と本委員会の意義を語 JR北海道・JR貨物

の挨拶を行った。

席し、それぞれ激励と連帯 海道事業本部より田原孝藏 中村鉄平交通政策部長が出 事業本部長、JR連合から 安全課題・組織課題・政策 その後、参加者同士で、 委員会には、交運共済北 みなど、今後の展開を議論 意を共有した。 や組織強化にむけた取り組 は、次代を担う若手をはじ さらに、組織課題について めとした組織拡大への方策







政策局との意見交換には、

一声を聞きながら一緒に政策

のさらなる

か」と今後 きではない 援を行うべ

と考えるが、今後も現場の

9月26日に行われた総合

いう形での場を設けてこな のように『定期委員会』と 「これまで各地協 交運労協2020年度政府予算概算要求 交通運輸産業の

すのは『人』。働く者にとっ

てよりよい労働条件・労働

自動車連絡会が進める取り組みの方向性を示す

労組西バス地本委員長)は 西原一英代表幹事(JR西

挨拶に立ち、

「バスを動か

に立ち、

冒頭、昆弘美議長が挨拶

通政策部長が出席した。

冒頭、合自動車連絡会の

において、定期委員会を開

会は、10月12日、札幌市内

労組と貨物鉄産労がこれま え、開催に至った。JR北

意識合わせをしながらJR で以上に密に情報交換し、

一の所信を述べた。

JR連合北海道地方協議

催した。

集。JR連合からは尾形泰 者総勢20人の仲間たちが参

一郎事務局長、中村鉄平交

た。全国から代議員・傍聴

いて、第27回総会を開催し

北海道地方協議会定期委員会

へ流・物流ネットワークの

維持活性化にむけて

車連絡会は、大阪市内にお

10月2日、

JR連合自動

確保するためにも、魅力あ

担い手となるべき人材を

議論に対する所感を述べ、

持続的な発展にむけた政策実現を

らない。改善基準告示の見

かったが、北海道地域にお

いて抱える課題がより深刻

順次各省庁とも実施する。 翌27日には道路局、10月4 9月26日に国土交通省総合 いた各省庁との意見交換が、 算要求に関する要請に基づ た2020年度政府予算概 日には鉄道局と行い、今後 政策局を皮切りに始まった。 交運労協が8月に提出し 物流政策審議官から「要請 部長が参加した。 交運労協住野敏彦議長をは おいて十分に検討を行い、 を受けた内容は担当部局に 合からは中村鉄平交通政策 じめ11人が出席し、JR連 予算要求に活かされている 瓦林康人公共交通・

地域でしっ

物流ネット

ワークを、

一うえで、支

を見据えた

し、将来像 かりと議論

海道への支援に関して、 能な人流・ 「真に必要とされる持続可 中村部長からは、JR北

を進めたい」と述べられた。 支援にむけた議論の積極的 局との意見交換には、 な姿勢を求めた。 10月4日に行われた鉄道

交運労協の取り組みを中心的に担うJR連合 中村部長が参加した。 連合から今井

ンフラに対する3か年緊急 と認識してい 所数は十分なものではない などが行われるが、対象箇 対策について、 に限りがあることから、3 か年以降も継続して支援を JR連合からは、重要イ る。施工能力 「法面補強 現に取り組む。 続的な発展にむけた政策実 協の一員として、産業の持

季治企画部長、 の計画をしっかり進めてい 担当者から「まずは3か年 きたい」と回答を受けた。 と訴えた。これに対して、 行い、対策を進めるべき」 今後もJR連合は交運労





